

サロンあべの

へサロンあべのへ 助成金交付

このたびへサロンあべのVが大坂市のボランティア活動振興基金助成金の交付を受けることが出来ました。

へサロンあべのVは障害者のノーマライゼーションも目標に地域の障害者と健常者の接点と求めて本年四月発足しました。

そしてボランティアグループとして様々な課題をもちながら活動を始めるに当グループにとりまして今日の助成金交付は大なる励みとなり喜びひとになりました。

これもひとえに皆様方の温かいご理解とご協力が多くの助言やご指導を下さり下さり下さりのお陰と感謝しております。

そこでもう一度へサロンあべのVの意味を考えてより確かな活動へと「出あいふれあい 助けあい」の輪を広げてゆきたいと思えます。

今後ともよろしく願います。

あべのV B 主催

交遊会参加

あべのボランティアビュロー主催の

ボランティア交流会が十一月十五日(土)

午後一時〜四時 月徳コミュニティセンターで開かれました。

阿倍野区ボランティア協議会(丸グループ) 丸山地区社協ボラ

ア部会 阪南地区社協ボラボランティア部会

ビュロー登録ボランティア サロンあべの

算の区内で活動しているボランティア

看護について

林 智子

看護学校で何を学んでいるか 難しい問題だ。

砂の教程ありそうは疾病、体の機能がどうとか、白血球数がいく

らだり、はたまたガンマグロブリントランスフェクターといったも

りまで出現する。こんな状況に

覚えられるはずがない。という

気持ちにムチを打つレポート、レポ

ートで山積み。いよいよ提出しよう

看護とは……いんげん本に書いてあるけれど、また

実感がない。にぶい人を見ていく仕事だと思える。

糖尿病患者、白血病患者、狭心症患者、

介裂病患者、この四者は、疾病も異なり、病院

(病棟)も治療も異なる。

その中で、ひとつの、それも重要な共通点

は、みんな人間であるということ。ゆがゆが

思々人かいる。一人の人の中にも色々な顔をもっている。勿論私も……

その色々な顔の目と目をむけずにはいけないう

そう願いたい。

いんげん本に書いてあるけれど、また

実感がない。にぶい人を見ていく仕事だと思える。

糖尿病患者、白血病患者、狭心症患者、

介裂病患者、この四者は、疾病も異なり、病院

(病棟)も治療も異なる。

その中で、ひとつの、それも重要な共通点

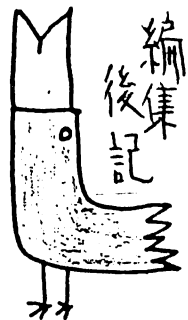
は、みんな人間であるということ。ゆがゆが

看護とは……いんげん本に書いてあるけれど、また

実感がない。にぶい人を見ていく仕事だと思える。

糖尿病患者、白血病患者、狭心症患者、

介裂病患者、この四者は、疾病も異なり、病院



編集後記

プロフィールは紙面の都合で休みます

一月の予定は

一月十七日(土) 二時〜五時 運営委員会

一月二十四日(土) 二時〜四時 月徳センター

女性障害者と職業